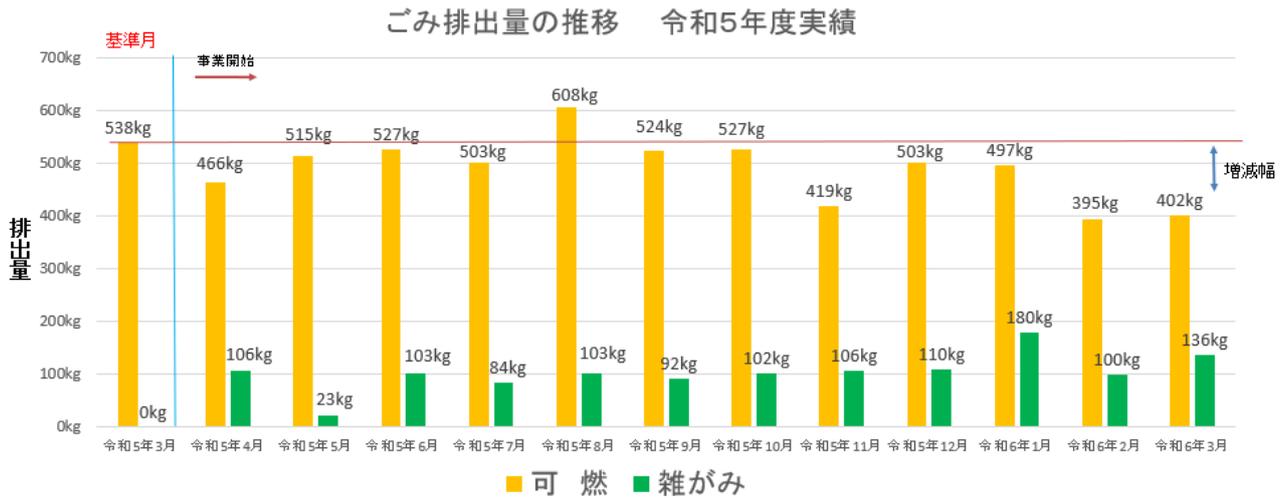


≪ 令和5年度 ごみ減量化モデル事業実績報告 ≫

- ① 事業期間：令和5年3月1日～令和6年3月31日（令和5年3月は基準月）
- ② 参加世帯：30世帯（五明1・2地区 15世帯 田中地区 15世帯）
- ③ 事業内容：可燃ごみと資源物（雑がみ）の分別。水切りの徹底。
コンポスト容器等の活用による生ごみの減量。
剪定枝や刈草の自家処理又は堆肥化。
可燃ごみ（週2回）及び雑がみ（毎週水曜日）の重量測定。



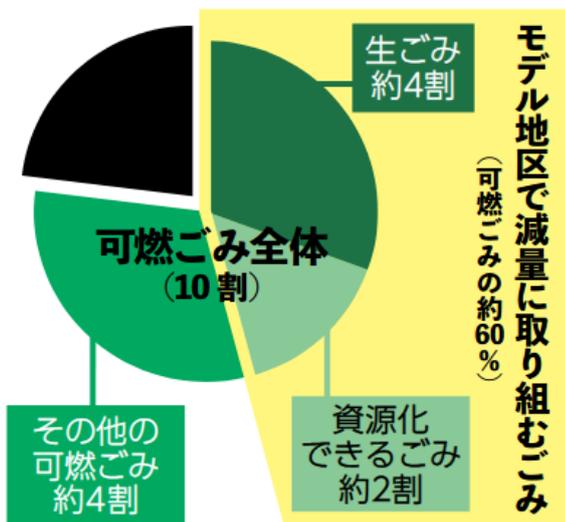
※3月は基準月とするために従来通りの出し方をお願いしています。

※3月を基準に増加数を見ることから「雑がみ」の数値が3月は「0」になっています。

≪ 経費の削減効果 ≫

- ・可燃ごみの削減量 **0.575 t** $0.575 \text{ t} \times 44,000 \text{ 円/t} = 25,300 \text{ 円}$ の費用削減
- ・雑がみ回収量 **1.327 t** $1.327 \text{ t} \times 5,000 \text{ 円/t} = 6,635 \text{ 円}$ の売却収入

≪ モデル地区で減量に取り組むごみ ≫



町から令和5年度に家庭から排出された可燃ごみの量は約 **1,453 t**。
町が令和5年度に小川地区衛生組合にごみ処理のために支払った負担金は約 **1億5,443万円**。
この金額はごみの重量で決まります。